

## 料理で難民のこと考えて

料理を通して難民を身近に感じてほしい。東京都新宿区のNPO法人「難民支援協会」は、日本に逃れた難民による母国料理のレシピ本「海を渡った故郷の味」を出版した。アジア、中東、アフリカの15カ国・地域の出身者が45種類のレシピをカラフルな写真で紹介している。

### 支援団体が本出版



スパイスをたっぷり使ったパキスタンやネパールのカレー、アゼルバイジャンのトマトソースの肉じゃが…。日本人になじみ深そう

な料理のほか、アフリカのコンゴ(旧ザイール)やウガンダなど地理的に遠い国のレシピも載せ、世界の家庭料理を一冊にまとめたのが特徴だ。

難民支援協会が支援している難民たちの協力を得て編集を進め、2月15日に販売を始めた。日本で手に入れるのに、食材は、代用可能なものを明記し、作りやすいように工夫した。本は1575円(税込み)。難民支援協会のホームページから購入できる。